

今月のおすすめ図書

◆一般図書

猛暑対策 BOOK



藤井 直人／著 小学館

何を飲むか、食べるか、冷やすとよい身体場所など、猛暑の夏をできるだけ楽に、快適に、安全に過ごすためのノウハウが紹介されています。

すうがくさんぽ



前田 まゆみ／著 あすなろ書房

子どもの頃の1年と大人になってからの1年は、過ぎる速さが違うとすることがあります。それを数学で説明してみると…。散歩をするように数学を楽しめる一冊。

♥児童図書

あさがおずかん



仁田坂 英二／監修 終原 礼士／監修
金の星社

あさがおの種まきから発芽、開花、種の収穫、あさがおの歴史や自由研究までを写真とイラストでわかりやすく説明、あさがお観察に最適な一冊です。

精霊の守り人



上橋 菜穂子／作 偕成社

人の世と精霊の世が混在する世界で、命を狙われる皇子チャグム。その用心棒として奮闘するバルサの生い立ちとチャグムの成長が描かれる「守り人シリーズ」第1作。

ぶらり らいぶらり

米子市立図書館からのお知らせ

米子市立図書館 ☎22-2612 FAX22-2637

開館時間 平日：午前9時～午後7時

土・日・祝日：午前10時～午後6時

今月の休館日 毎週月曜日、31日（月末資料整理）

夏休みは図書館へ行こう！

「米子市立図書館へいこう！」
キャンペーンを開催します。

①～③のミッションをクリア
して、景品をゲットしよう！

①貸出カードをつくろう！

②本を借りよう！

③イベントに参加しよう！

▶期 間

令和8年4月まで

▶対 象 高校生以下



小・中学生のための国際理解講座

「世界を知ろう！～イギリス・ドイツのおはなし～」

クイズを交えながら外国について楽しく
学べます。

夏休みの自由研究にもぴったり！

▶と き 第1回7月27日（日）、第2回8月3日（日）
いずれも午前10時30分～正午

▶講 師 渡邊 眞子 さん

（公益財団法人鳥取県国際交流財団理事）

▶対 象 小・中学生 20人（保護者・学生同伴可）

※申込受付中



くわしくは
HPで



今月の催し（☆印は要事前予約）

「おはなし会」

▽木曜おはなし会（ほしのぎんか・火曜の会）毎週木曜日 午前10時40分

▽夕方おはなし会（職員）

8日（火）午後4時

▽おはなしかご（米子おはなしかご）

19日（土）午前10時30分

▽各種講座

▽つつじ読書会「本心」平野啓一郎／著（文藝春秋）（初めての方☆）

5日（土）午後2時

▽楽しく漢文に学ぶ会（初めての方☆）

6日（日）午後1時30分

▽いきいき長寿音読教室（☆）

8日（火）午後3時、9日（水）午前10時30分（1日（火）午前9時受付開始）

※8月の予約は8月1日（金）受付開始

▽伯耆文化研究会

「日南町の戦争遺跡「宮内防空監視哨」について」伊田直起さん、「建物疎開について」荒木菜見子さん

12日（土）午後1時30分

▽鳥取大学サイエンスアカデミー

12日（土）、26日（土）午前10時30分

▽古文書研究会「多比能實久佐」ほか

26日（土）午後1時30分

▽「2階ギャラリー」

▽高校生のためのビジネスプラン作成講座関連展示 1日（火）～30日（水）

▽こどもからシニアまで！がんについて学ぶ日～みんなで守る、命をつなぐ未来～ 13日（日）



米子水鳥公園の指導員（レンジャー）が
日々の活動をご紹介します！

米子水鳥公園 レンジャー通信

文／米子水鳥公園統括指導員 桐原 佳介

ネイチャーセンターの前を
飛ぶオオヤマトンボ



飛んでいる姿を真横から
間近に観察できることは
珍しい

鳥たちが子育てに忙しい夏は、園内で見られる鳥がとてもしなくなります。その一方で存在感を増すのが昆虫です。

2024年7月17日に、ネイチャーセンター2階の観察ホール目の前を、オオヤマトンボが行ったり来たりしていました。オオヤマトンボは、平地から丘陵地の水面が開けた池などで見られる大きなトンボです。目が緑色で、体が大きくて黒地に黄色のしま模様なので、オニヤンマとよく間違われます。

実は、オニヤンマと姿がよく似た大きなトンボは、ほかに

オオヤマトンボ

たくさんいます。しかし、飛ぶ方や住む環境で、ある程度見分けることができます。オニヤンマは、小川沿いや林縁を往復して飛ぶことが多いです。一方オオヤマトンボは、池の上を往復して飛ぶことが多いので、池でオニヤンマのような大きなトンボを見かけたら、オオヤマトンボの可能性が高いです。

池の上を往復して飛ぶのは、縄張りをパトロールしているオスがほとんどです。ところが、今回飛んでいたのはメスでした。何のためにここで往復していたのか不思議でした。

美術館通信

米子市立山陰歴史館・米子市美術館・米子市埋蔵文化財センター連携事業

企画展「戦後80年 未来へ伝える昭和の戦争」

アジア・太平洋戦争が終結して80年を迎える2025年、米子市立山陰歴史館・米子市美術館・米子市埋蔵文化財センターが連携し、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出す展覧会を開催します。米子市立山陰歴史館所蔵の戦中・戦後の貴重な資料や、米子市美術館及び近隣美術館収蔵の戦争を経験した芸術家の作品、戦跡を伝える写真作品などを展覧し、戦争がもたらした惨禍の記憶を後世にどう引き継いでいくかについて改めて考える機会を提供します。

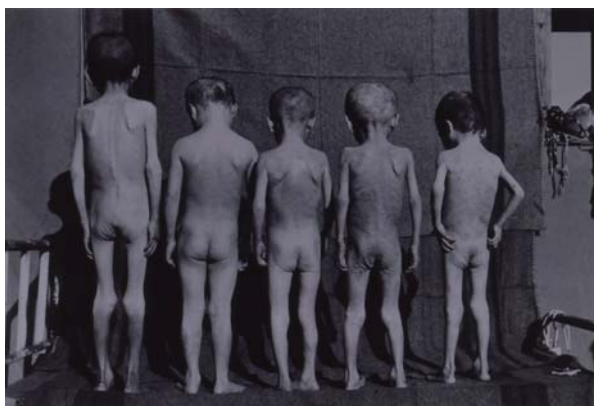
■会 期

7月20日（日）～8月24日（日）[水曜日休館]

■観覧料 一般 500円（前売 400円）

大学生以下の方、70歳以上の方、障がいのある方（付き添い1人を含む）は無料 ※ その他各種割引あり

〒米子市美術館（☎ 34-2424 FAX 33-0679）



菊池俊吉《戦災孤児収容所の子供たち（背面）》1946年
ゼラチン・シルバープリント / printed in 1991 米子市美術館蔵